



ロケーション インテリジェンス
地理情報システム

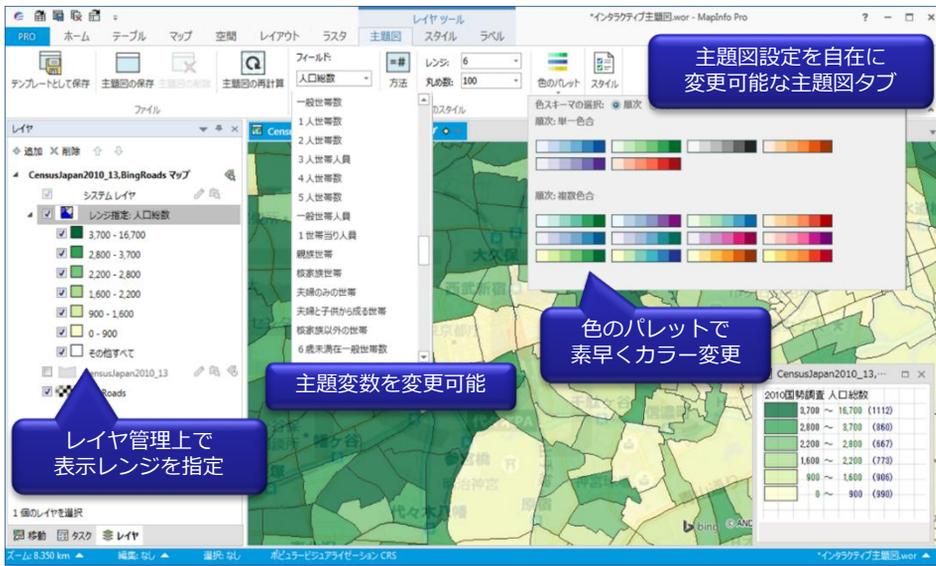
MapInfo Pro™ v16

スパットとマップ表示、スカットと課題解決

MapInfo Pro v16の新機能

主題図の編集がさらに容易に

主題図編集のインターフェイスが一新され、使い勝手が大幅に改善されました。リボンメニューやレイヤ管理ダイアログからマップを直接変更や更新できるようになったほか、ギャラリーコントロール上でマウスオーバーした瞬間に主題図の表現がフィードバックされるよう操作性が進化しました。



レイアウトデザイナーの改善により マップ入りレポート作成が短縮

レイアウトデザイナーの改善により、見栄えのよいマップがより短時間で作成できるようになります。レイアウトリボンタブは操作性向上のための修正が行われたほか、アンダーラインやバックの配色などラベル表現を多彩にできるテキスト表現が加わっています。



使いやすさ

- 直感的なユーザーインターフェイス
- 操作が容易なりボンナビゲーション
- 右クリックでミニツールバー
- マウスオーバーで設定を即、ビューに反映

多彩なデータに高速アクセス

- Pitney Bowes Commerce Cloud によるグローバルジオコーディングへのオンデマンドアクセス
- 140ヶ国以上の住所や地物をジオコーディング
- 正確なジオコーディングがもたらす正しいビジネス判断

トータル相互互換性

- 既存のITシステムとの容易な連携
- 最新のOGC標準をはじめとしたファイル形式を幅広くサポート
- 他社GISや既存ビジネスシステムとのデータ共有を加速

MapInfo Pro 過去5年間の進化 だから、v16にアップグレード！！

ブラウザウィンドウでデータのソートやフィルタリングが可能に

Microsoft Excelのスプレッドシートを扱うような感覚で、データのソートやフィルタをかけることができるようになりました。ブラウザウィンドウにメニューバーが追加され、行の交互配色、削除行と選択行の表示などの表現力の改善が実現。さらに、データのソートやフィルタ操作などの機能を追加しました。もう面倒なSQL検索を行う必要はありません。

データの追加・編集時に並び替えまたはフィルタを再適用(更新)

ブラウザに表示されるテキストのスタイル

表示フィールドを選択



メニューの選択

新しい行を追加



並び替えとフィルターメニュー



フィールドのヘッダーを右クリックで、並び替えとフィルターメニューがポップアップ

アクティブレイアウト採用による、新しいレイアウトデザイナー

マップやレポートの印刷に便利なレイアウトデザイナーが一新され、見栄えのよいマップ入りレポートがより効率よく作成できるようになりました。

もう、かつてのようにマップウィンドウとレイアウトウィンドウ間を、行ったり来たりして編集する必要はありません。その上、レイアウト内のマップ上で、移動や拡大縮小、レイヤのオンオフ、ラベルの編集が可能になり、イメージした通りのレポートの作成がスムーズに実現します。

ほかにも、レイアウト内のブラウザウィンドウの直接操作が実現したり、レイアウト内でのグリッドラインの表示、自動改行テキストボックスの提供、レイアウト内へのロゴや画像の追加などの新機能が、レイアウトウィンドウの使い勝手を加速させました。

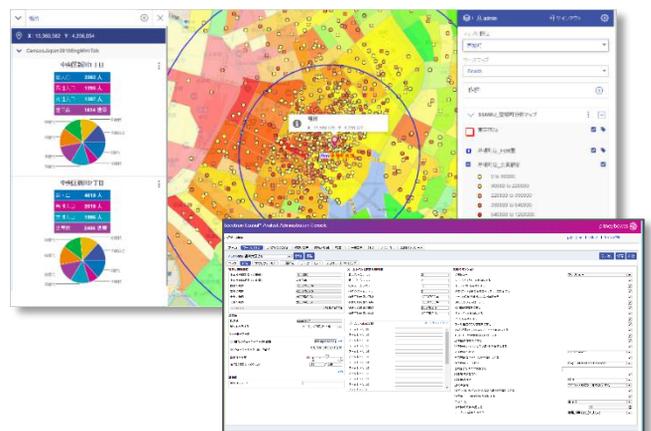


MapInfo Proで作成した分析マップをオンラインでシェア

関連製品の Spectrum Spatial Analyst (SSA)を活用すれば、MapInfo Proで作成した地理的なデータや分析マップをサーバ環境で共有し、ネットワーク経由で関係者のPCやスマートフォンなどから常に閲覧を行うことができるようになります。

SSAはシステム導入後にアプリの開発やコーディングは不要で、サーバにマップをアップロード後、専用の画面上にてマップの設定を行うだけで、手軽にウェブマッピングが実現します。

組織内部での情報共有はもちろん、ポータルサイトを通じた外部へのマップの公開も可能で、チーム内外の意思決定に強力な武器となります。



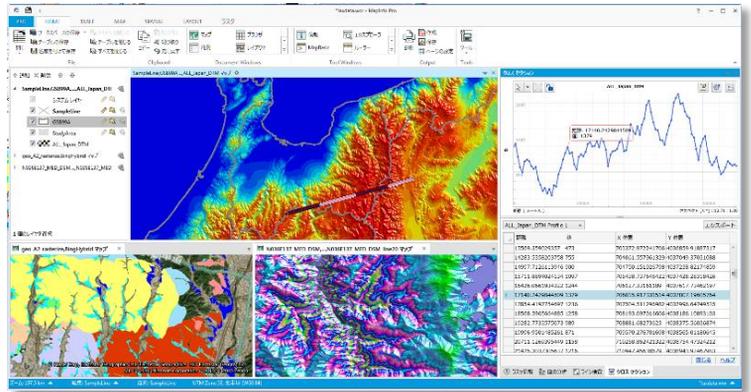
Advanced版の登場によりラスターグリッド分析が実現

ラスターグリッドデータを高速処理できる機能を加えた上位バージョンである MapInfo Pro Advanced も選択可能となりました。

陰影表現がきれいなマップを使いやすい操作で実現
ラスター分析の必要かつ十分な諸機能はリボンタブ内にコンパクトにまとめられており、高い操作性を実現しています。陰影表現はビルトインされたカラーパレットや光源設定をマウスオーバーによってオンザフライで変更可能で、作成データを都度保存する必要なくイメージ通りのマップ制作が効率よく行えます。

巨大なラスターグリッドを軽量化し、高速処理できるグリッド形式(MRR)を採用

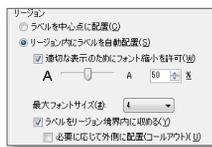
MapInfo Pro Advanced 向けに新たにMRR (Multi-Resolution Raster) 形式と呼ばれる革新的なデータフォーマットを開発しました。異なる形式のグリッドの保持や同一グリッド内の複数の変数や異なる解像度のデータ格納が可能に。大規模なデータセットをコンパクトに保存することができます。



マップの機能性と表現力をアップさせるラベル表示機能の向上

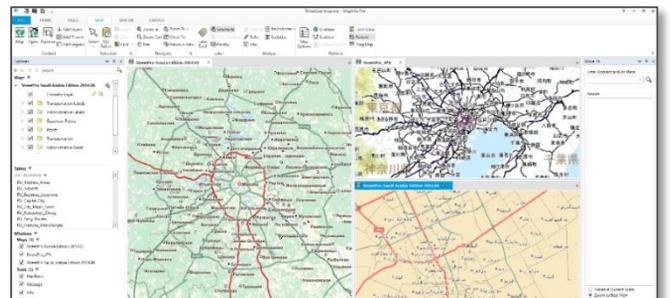
マップの見やすさ、わかりやすさを左右するラベルの表現力アップにも力を入れています。

細かいポリゴン内にラベルを自動的に収めたり、収まらない場合は、引き出し線による表示や省略ラベルオプションによる短縮ラベルが可能となりました。また、ラベルが込み入った場合には、異なるレイヤ間でのラベルの優先度を設定したり、線状のラベルに対しては、曲線化ラベルの表現性向上を計るなど、より見やすい表現のための改良を行っています。



ユニコードのサポートによる多言語マップの同時表示

文字コード規格としてユニコード対応を行いました。日本語とタイ語と中国語といった複数の言語の地図を同時に正しく表示できるようになりました。海外に進出した日本企業が現地の分析を行う場合でも、ストレスなく同時に複数の国の作業を行えるようになります。



直感的で使いやすいリボンインターフェイスを採用

v12.5から導入となった64bit版では、ユーザーインターフェイスをMicrosoft Officeなどで採用されているリボン形式のユーザーインターフェイスに一新し、操作時のマウスクリックを減らし、直感的で高い操作性を実現しました。



リボン、ツールバー、ミニツールバーなどを採用し、使いやすさが進化

すべてのウィンドウで、ドッキング、浮動、タブモードが使用可能。浮動モードでは別のモニターへ移動可能

ワークスペースエクスプローラで、レイヤ、テーブル、ウィンドウ、データ接続が閲覧可

MapInfo Pro v16の新機能

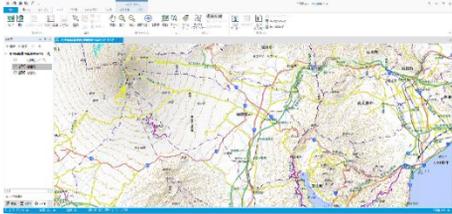
データの互換性がさらに充実

TABファイルの性能が拡張し、テーブルには最大1,000のフィールドを持てるようになったほか、2GBのファイルサイズの上限がなくなりました。また、以下に示すような最新のOGCスタンダードのサポートによって相互運用性が向上し、マップや位置情報の共有がさらに容易に実現します。

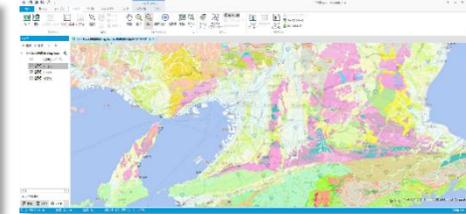
- OGC Web Feature Service (WFS) 2.0
- OGC Web Map Tile Service (WMTS)*1
- OGC GeoPackage*2

*1 WMTSは、画像化されたタイルマップを Web経由で提供するためにOGCが定めた標準プロトコルです。世界各国でWMTS形式で公開された地図情報があり、日本でも国土地理院や産業技術総合研究所がサービスを公開しています。

*2 GeoPackageはOGCが定めたオープンスタンダードなGISデータ形式です。ピツニーボウズのロケーション製品はもちろん、他社GISとのデータの共通活用やモバイル活用シーンでのメリットがあります。



地理院地図(国土地理院)のWMTSを表示した例



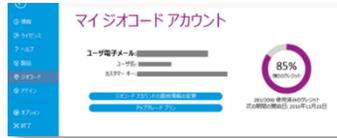
日本シームレス地質図(産業技術総合研究所 地質調査総合センター)のWMTSを表示した例

全世界のユーザーが世界対応のジオコーディングをオンラインで

MapInfo Pro v16 では世界対応の住所や地点へのジオコーディングをオンラインアクセスを通じて実現します。従来型のデスクトップのジオコーダーのように参照用の住所データを購入する必要なく、世界中の住所をジオコードしてマップ上に表示可能です。日本の住所は漢字表記はもちろん、ローマ字表記の処理も可能です。

- Pitney Bowes Commerce Cloud によるジオコーディング・サービスを使用するクレジット*
- 140ヶ国以上のストリートレベルのジオコーディング

*クレジットは新規購入後の一定期間に毎月割当があります。一定期間後はメンテナンス契約に加入し、追加のクレジットの購入が必要になる場合があります。



ラスター機能の追加でさらに進化 (Advanced版)

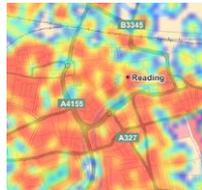
MapInfo Pro™ Advanced は、高解像度グリッドデータの超高速処理、ビジュアライゼーションと解析を行うための世界で最も高性能のデスクトップベースのラスターGISソリューションです。大陸レベルや全世界レベルの巨大なデータでもストレスなく処理を行い、組織全体でその成果を容易に共有することができます。

最新版では、さらに改善が加えられ、ビジュアライゼーション、分析、生産性が向上しています。

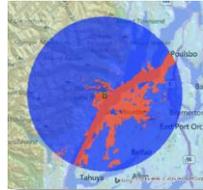
- LIDAR / .LASデータセットを含む複数のファイルからグリッドを作成可能に
- グリッド計算機能の強化
- 新しいグリッド補間方法



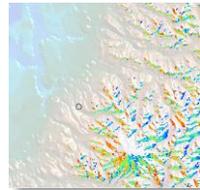
統計解析



ホットスポット



可視域解析



表層分析
(傾斜, 角度, 曲率)

■発売元

ピツニーボウズジャパン株式会社 ソフトウェア事業部

〒140-0001
東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー12階
TEL: 03-5657-1230/ FAX: 03-3280-8903
E-mail: jp-sales@pb.com
Web: <http://www.pitneybowes.com/jp>

詳細は、ピツニーボウズジャパン

または、製品販売パートナーまでお問合せください

動作環境

MapInfo Pro /MapInfo Pro Advanced Version 16 (64bit版)

OS

- Windows® 10 64bit
- Windows® 8.1 64bit
- Windows® 7 Ultimate 64bit SP1
- Windows® Server 2012 R2 64bit SP1
- Windows® Server 2012 R2 64bit (XenApp 7.5使用)
- Windows® Server 2008 R2 64bit SP1
- Windows® Server 2008 R2 64bit (XenApp 6.0使用)

空間DB

- Microsoft SQL Server 2016
- Microsoft SQL Server 2014
- Microsoft SQL Server 2012
- PostgreSQL 9.5.3 (PostGIS 2.2.2)
- PostgreSQL 9.4.2 (PostGIS 2.1.7)
- PostgreSQL 9.2.2 (PostGIS 2.0.1)
- Oracle Spatial 12c R1
- Oracle Spatial 11g R2
- SQLite 3.8

DB

- Microsoft Access 2010, 2013, 2016

データ互換性

一般PCファイル

- Microsoft® Excel
- Microsoft® Access
- DBF
- CSV、区切り付textファイル

空間データ

- AutoCAD® DXF/DWG
- SHP
- DGN
- GML
- KML
- OGC GeoPackage 他

画像・イメージ地図

- WMTS
- WMS
- WFS
- CSW
- 航空写真画像
- 衛星写真画像
- スキャンした紙地図
- Microsoft® Bing maps



Pitney Bowes, the Corporate Logo and Spectrum are trademarks of Pitney Bowes Inc. or a subsidiary. All other trademarks are the property of their respective owners. © 2014-2016 Pitney Bowes Inc. All rights reserved. この内容は予告なしに変更する場合があります。ここに記載されている製品およびサービス名は、各社の商標です。